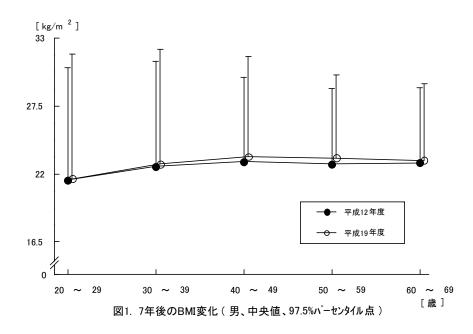
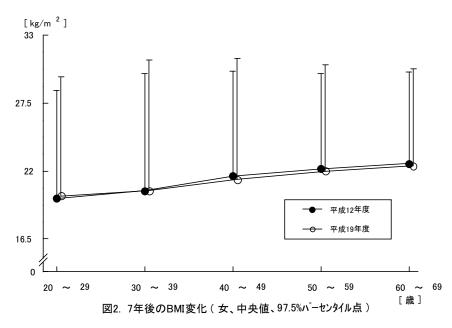
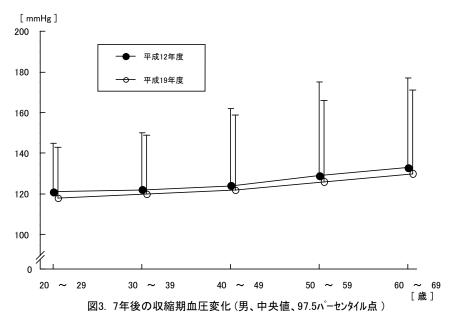
滋賀県内労働者の定期健康診断における 生活習慣病関連項目有所見者の7年間の推移

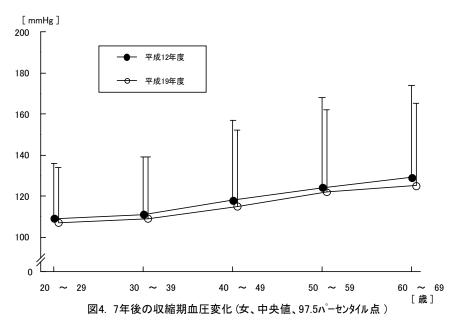
~性·年齢別からみたBMI、血圧、脂質、血糖値等の分布の変化を中心として~

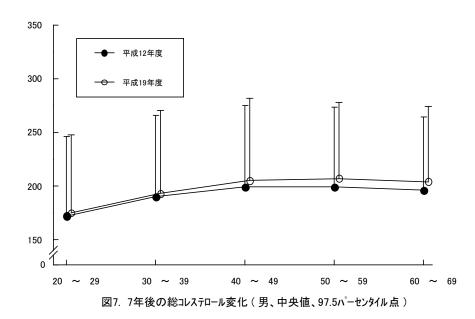
滋賀産業保健推進センター 産業保健相談員 寺澤嘉之

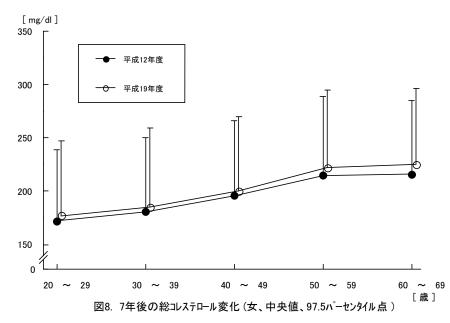


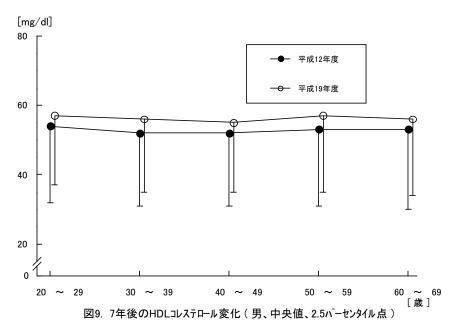


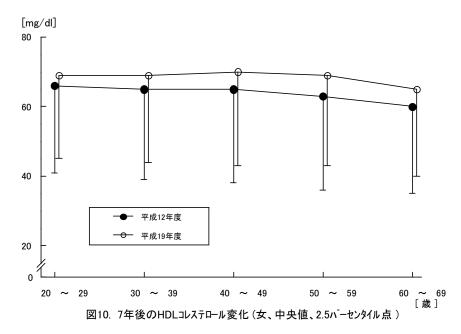


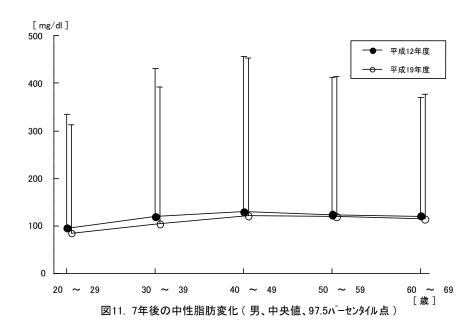


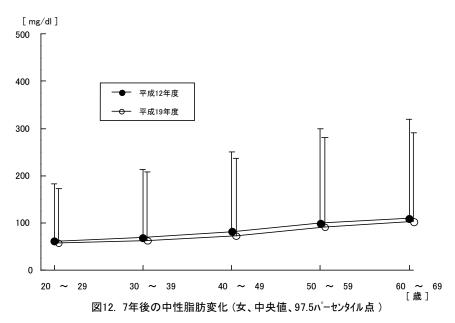


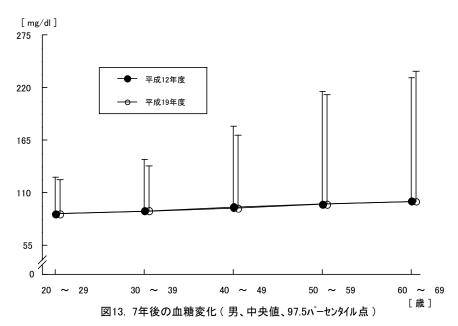


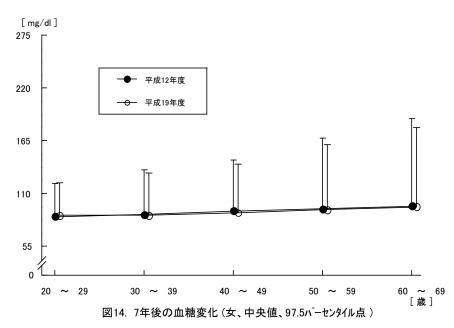


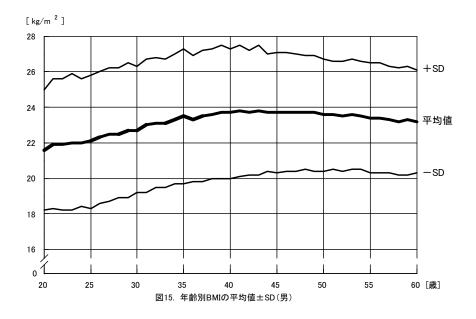


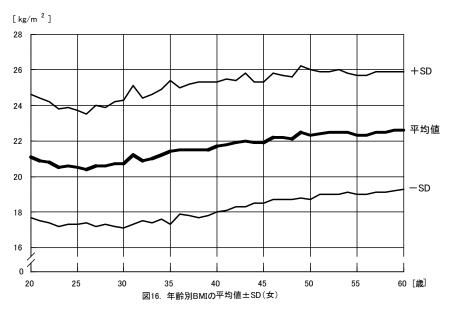


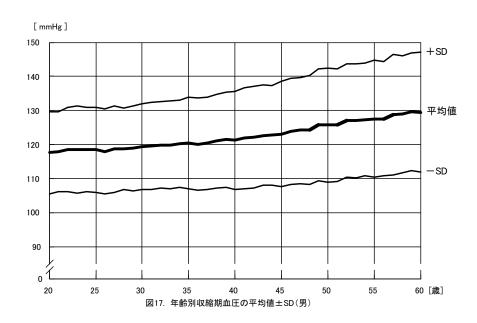


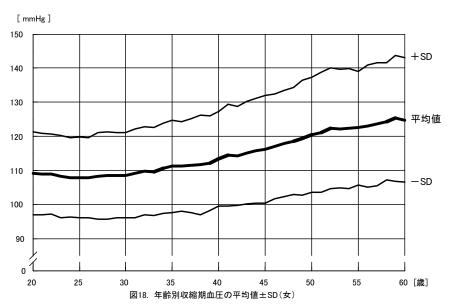


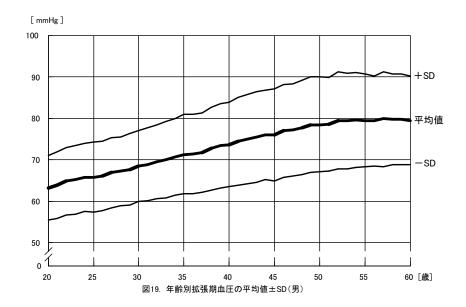


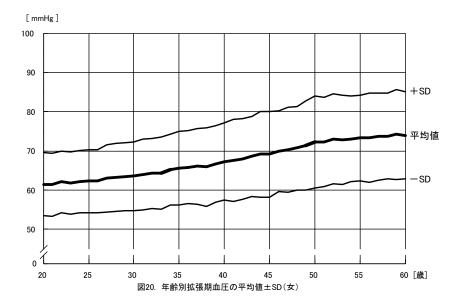


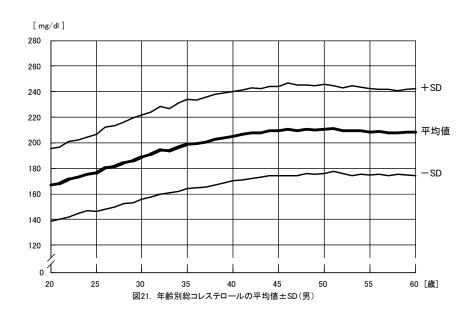


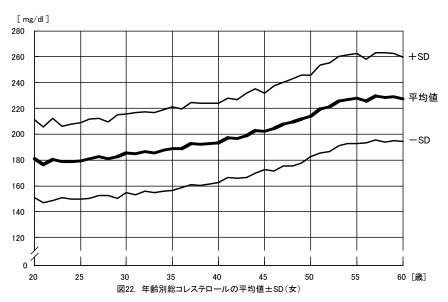


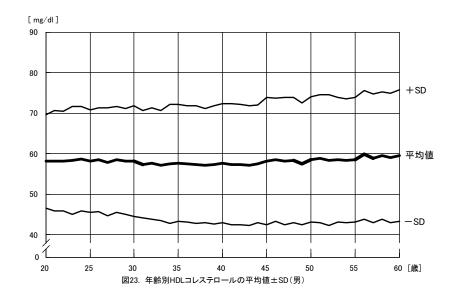


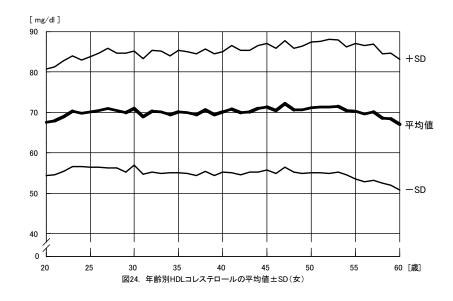


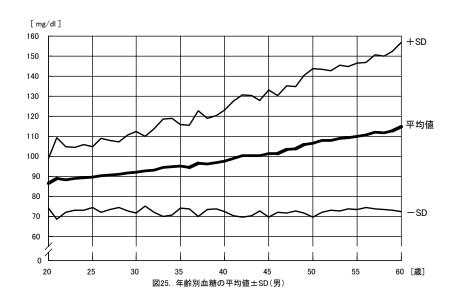


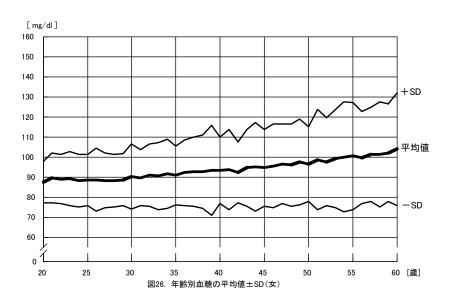












結 語

- 1.7年間の変化については、男女とも一部を除いて全般的に改善した。
- 2. 同年齢では総コレステロールを除いて、女は男よりも 良好な値を示した。
- 3. 男はBMIの上昇をみる40歳前半までに保健指導を強化する必要がある。
- 4. 女は総コレステロールの増加幅が大きくなる更年期 から保健指導を強化する必要がある。